

**フェロドールEPX 34**

**FERRODOR EPX 34**

エポキシ樹脂MIO塗料

適用規格 FKD, HDK, NES, SDK, (JIS K 5555)

**系統**

ポリアミド硬化エポキシ樹脂M.I.O.中塗・上塗塗料  
(2液形)

**塗付量と膜厚**

	平均膜厚		標準塗付量 注)
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m <sup>2</sup> /回
エアレススプレー	50	110	300
ハケ塗り	50	110	230

**特徴**

- 1) 外観はM.I.O.(マイカシアス アイアン オキシド)特有のメタリック観がある。
- 2) 耐候性に優れ、長期の大気バクロに耐える。
- 3) 耐水性・耐海水性に優れ、没水箇所で使用できる。
- 4) 各種適用上塗塗料との塗装間隔が長期にとれる。

200μmまでの厚塗りが可能  
注) 標準塗付量は、個々の条件によって異なります。

**塗料性状**

項目	内容
1 荷姿	20kgセット ベース : 18.5kg 硬化剤 : 1.5kg
2 混合比(重量比)	ベース / 硬化剤 = 18.5 / 1.5
3 色	ブリッジグレー
4 塗料密度(塗料比重)	1.63
5 溶剤密度(溶剤比重)	0.86
6 加熱残分	71.1%
7 劇物表示(品名・含有率)	
8 労安法上の表示有害物	ベース: キシレン、トルエン メチルイソブチルケトン イソブチルアルコール エチルベンゼン  硬化剤: キシレン イソブチルアルコール エチルベンゼン
9 使用有機溶剤種別	ベース : 第2種有機溶剤等 硬化剤 : 第2種有機溶剤等
10 消防法による危険物区分	ベース : 第1石油類(非水溶性) 硬化剤 : 第1石油類(非水溶性)
11 硬化剤の成分による区分	ポリアミドアミン
12 ホルムアルデヒド放散等級	

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

**塗装要領**

- 1) 調合と熟成  
ベースを攪拌しながら硬化剤を徐々に混入し、5~10では15分間(10以上は不要)の熟成時間をおいたのち使用する。
- 2) 使用シンナー名  
テクトEPシンナー
- 3) 希釈率(重量比)  
エアレス 0~10%、ハケ塗り 0~10%
- 4) エアレス塗装条件  
2次圧 10MPa(100kg/cm<sup>2</sup>)以上  
チップNo. 163T - 619~623

**乾燥時間 塗装間隔 使用制限**

項目	温度	5	20	30	
		乾燥時間	指触	5時間	3時間
		半硬化	16時間	10時間	8時間
標準塗装間隔 注)	最短	24時間	16時間	16時間	
	最長	12ヶ月	12ヶ月	12ヶ月	
可使用時間		24時間	8時間	4時間	

注) 下記の適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

**適用素材**

**適用下塗塗料**

SDジंक、エポマリンプライマー、エスコ、アルテクト

**適用上塗塗料**

エポマリン、ラパテクト、レタン、シリコテクトAC、セラテクトU、F

**耐熱温度(大気バクロ環境)**

瞬間 200 耐用、長時間 100 耐用

**使用上の注意事項**

- 1) 粒子の大きなM.I.O.(マイカシアス アイアン オキシド)を使用しており、エアレススプレーのチップは大きなものを使用してください。
- 2) ハケで塗装した場合、ムラが生じやすいため、できるだけスプレーで塗装してください。
- 3) 未乾燥状態で雨に降られたような場合、白化することがあります。表面のみの変色であれば特に塗膜性能に支障はありません。
- 4) 塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
- 5) 硬化剤は、缶に残らないように十分に取ってベースと混合してください。
- 6) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、MSDS(製品安全データシート)を参照してください。